

・夏休み

日本の教育機関の場合、正式名称は「夏季休業」といいます。校舎などに冷房設備がない場合が多く、太平洋高気圧支配下での授業が暑熱により困難なので、その間を休業とするためだそうです。そして、その期間に期待される教育効果の主たるものは、普段学校では体験することの出来ないことへの児童・生徒の挑戦ということですが、小学生諸君新たな挑戦は出来たのかな？夏休みもあとほんの僅かですよ。

土質についてのお話。

土質の中には、それぞれの地方だけに分布しているローカルソイルと呼ばれる特徴的な土質があります。これらの特徴をしっかりと捉えて判定することが、我々地盤解析保証会社としては重要と考えております。関東では、代表的なものとして関東ローム層があります。

関東ローム層は関東地方に分布する火山灰起源の地層群の総称であり、関東平野を広く覆う火山灰起源の地層群です。主に第四紀更新世の火山活動によるもので、関東地方の特に丘陵や台地などを覆っています。一方、南関東での関東ローム層は、富士箱根火山に噴出起源をもつ火山灰が堆積したいわゆる赤土です。赤土の色は含有する鉄分が風化により酸化したものであると言われております。また水中に堆積すると灰色を呈し、そこが古くは水面があった目安となることがわかります。

関東ロームの特徴は、有機物を多く含んでおり、また、粘り気が低く固まりにくいことです。膨軟多孔質で、排水性、保水性等に優れている性質を持っています。また冬期に乾燥状態が続くと、地面の砂が強風に煽られて土ぼこりとなります。風乾されたロームが土ぼこりになりやすいのは、土粒子が細粒である他に乾燥密度が小さい(細かくて軽い)ことが主な原因です。

最後にとても重要な事ですが、関東ローム層は見かけ以上に支持力を持っている(硬い・強い)、という事実があります。なので宅地の地盤としては良好ですが、掘削などにより一度乱してしまうと著しく強度が低下してしまう、という特徴があるので特に注意が必要です。当社の判定においては、地盤調査の結果、自然状態の関東ローム層の上での建築であれば、地盤改良工事を必要としない場合も多くあります。

第31回 今月もウォーキングにお付き合いください

三成 哲也
の

ウォーキング 日誌



8月13日 新杉田駅～金沢水際線緑地～海の公園～能見台駅
新杉田駅から東京湾沿いの遊歩道(金沢水際線緑地)を通り、海の公園に向かう。

新杉田駅から金沢シーサイドライン沿いに八景島方面に向かい、途中の産業振興センター駅から東京湾に向けて進路を変更する。釣り場として人気があった福浦岸壁が数年前の台風で防波堤が損傷して新しく金沢水際線緑地となって以前のように釣り場として賑わっているらしい。確かに当公園に足を踏み入ると早朝にもかかわらず釣り人でいっぱい。老若男女が東京湾に釣り糸を垂らしている。東京湾を望む眺めもよく海風が自分の中を通り過ぎていく。遥か彼方にぼんやり見えるのは房総半島か、南側に見える小さな島は猿島だろうか？子供が小さいときに船で猿島にわたって貝採りをした記憶がある。

1kmくらい歩いたでしょうか、遊歩道も終わり一般道と雑木林の方に行く小径に分かれる。

躊躇なく雑木林の方に向かう、暫くするとまた東京湾沿いにでた。ここでも釣り人は沢山いる。八景島もすぐそこで、頭上には八景島に続く橋がある。まだ開島の時間ではなく橋の入り口は閉まったままだ。橋を突っ切って暫く行くと今度は八景島駅に繋がる橋がある。その橋を渡り切るともう目の前は海の公園だ。まだ早朝であるが、お盆休み中でもあり沢山の海水浴客がいるかと思えば、海に入っているのは数家族のみテントも殆ど見かけない。浜辺に降りてみると異様な臭いがする。原因は浜辺に打ち上げられた「アオサ」であろう。この臭さが敬遠されているのかはわからないが、ちょっと意外だ。波打ち際から丘に近いところにビーチバレー場がある。何面かあるコートは既に埋まっていて盛況ぶりがかげがえる。遠くではライフセイバー達が訓練をしている。

ここからいつもは金沢八景駅に向かうが、今日は能見台駅に向かうことにした。駅に向かう途中に横浜高校野球部のグラウンドがある。早朝であるが大勢の部員が大きな声を出しながらウォーミングアップをしている。脳裏に浮かぶのは甲子園行きの切符がかかった慶応高校との神奈川大会決勝戦の9回の挟殺プレーだ。横浜高校の遊撃手がセカンドベースを踏んだか、踏まなかったか大きな話題となった。横浜高校の執拗な抗議も認められず、ランナーを2人残したままプレー再開、その直後、慶応高校の選手の逆転スリーランホームランが飛び出し、横浜高校ナインは甲子園直前で涙を飲んだ。賛否両論はあるだろうが、一番近くで見ている審判が踏んでいないと言っているのだから仕方がないにせよ、何となく後味が悪い決勝戦であった。この際、高校野球でも決勝戦はビデオ判定を入れてはどうか？数多くこのような意見が紙面を賑わしていたが、自分自身もその意見には賛成だ。敗れた横浜高校も納得できたであろう。

その神奈川大会で優勝した慶応高校が全国優勝を果たした。横浜高校の胸の内はどうだったのであろうか、何とも複雑だ。ただセカンドベースを踏み忘れた？横浜高校の遊撃手は甲子園に出ていないにもかかわらず全日本に選出されている。県大会決勝のうっぴんを晴らして欲しいものだ。

横浜高校のグラウンドから15分程で能見台駅に着いた。この能見台駅は40年位前までは「谷津坂駅」という名称だった。殆どの方はご存じないのだろう。

本日のウォーキングはここ能見台駅で終了。